

“海を越えた出会い”

戸ノ岡 京介

3月25日、僕はグアムへ飛び立ちました。派遣が決まり、最初のオリエンテーションから早2ヶ月。僕は空港へ向かうバスの中、少し不思議な気分でした。グアムへ行くことはわかっていたけど「今日ほんとうにグアムへ行くんだ。」と思うと、期待と不安が頭の中を駆け巡っていました。飛行機に乗ると不思議と不安がなくなり、「グアムってどのくらい暑いのかな」などとくだらない想像ばかりしていたら、あっという間に着いてしまいました。空港ではすでに私たちのホストファミリーが待っていました。そこには僕のホストファミリーの **Bruce** の姿がありました。うれしさのあまり駆け寄ると、笑顔で貝のネックレスをかけてくれました。僕が話しかけると、笑顔で答えてくれてすぐに仲良くなることができました。お母さんや、他の子たちもすぐに話しかけてくれて「とても温かい人たちだな。」と思いました。ホストファミリーと自由行動し家に帰ると、お父さんがいました。見た目は怖そうだけど、ジョーク混じりで挨拶してくれる、ユーモアのある素敵な人でした。2日目、眠り眼で目を覚ますとすぐにシャワーへ向かいました。この日は学校へ行く日で、急いで用意し、スクールバスで行きました。学校に着くと **Bruce** の同級生や小さい小学生などが話しかけてきました。僕は身振り手振りで受け答えし、マジックをやったらとても喜んでくれました。放課後はウエルカムパーティが始まるまで皆でサッカーやバレーをしました。一緒にすることで絆が深まる、スポーツっていいなと思いました。パーティでも、たくさんの人が声をかけてくれて、暖かい人ばかりでした。3日目は観光をして、その夜に **Bruce** につれられてバスケットをしに行きました。僕より年上の人や女の子と一緒に試合をして楽しみました。4、5日目には、家族みんなでタロフォフォの滝を見に行ったり、ショッピングをしたりしました。ショッピングセンターには **Bruce** のいとこなどたくさんの人に会いました。5日目の夜、今まで一緒に遊んだ学校の仲間たちに何か残せないかなと思い、動物の折り紙を折りました。難しいものばかりでしたが、**Bruce** も手伝ってくれて折ることができました。6日目、今までお世話になった家族やお父さんに別れを告げ、学校に行きました。すると、GUAM 生達はぼくたちに素敵な歌と踊りをプレゼントしてくれました。それから心寂しくも仲間たちと別れ空港へ向かいました。別れするとき、来た時のように笑顔でサヨナラをすると、向こうも笑顔で見送ってくれました。僕はグアムでたくさんの人に会い、日本



では得られない大切なことを学びました。この機会を与えて下さった柏市交流協会の皆様、今回の企画に携わって下さった皆様に心から感謝しています。とても素晴らしい企画なので今後とも続くよう願っています。

ありがとうございました。